

議決権行使レポート

証券コード 7893

会社名 プロネクサス

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役選任			
上野 守生 氏	○		
上野 剛史 氏		○	
森貞 裕文 氏	○		
藤澤 憲司 氏	○		
小澤 則夫 氏	○		
塩津 裕一 氏	○		
長妻 貴嗣 氏	○		
清水 謙 氏	○		
酒井 一郎 氏	○		
第2号議案 買収防衛策の更新	○		

上記の推奨をした理由

第一号議案 取締役員選任

今回は代表取締役社長の上野剛史氏の専任のみに反対した。近年は、取締役会の役員の多様性（この場合は一般的な民族や文化を示すものではなく、経営における立場や視点の多様さを表す）を確保するために、世界的な議決権行使助言機関である ISS や Glass Lewis が、取締役会の役員のうち女性役員の数または割合が一定基準を満たさない場合には取締役会のトップや議長の選任に反対する、という判断基準を採用するようになっている。プロネクサスの取締役会の女性役員数(率)は0人(0%)である。

経営内容を見てみると自己資本比率・純利益ともにここ数年健全であり、10%を超える政策保有株を持っている役員候補はいない。社外取締役員の人数(比率)は3人(1/3)以上であり、全員が独立性を十分に担保されているといえる。長妻貴嗣氏（三協フロンティア株式会社）は過去に原価付替え案件や水増し・架空請求への関与が疑われたことがあるが、長妻氏の不祥事への関与が認められなかったこと、長妻氏が十分な制裁をすでに受けていること、そしてこの不祥事の発覚は前年度株主総会の前であったことを考慮して選任には反対しない。

第二号議案

第二号議案である買収防衛策の更新については賛成である。取締役会と、これを監視する第三者による独立委員会がそれぞれ信頼できる基準（独立性の割合や出席率）を満たしていること、買収防衛策の発動基準、有効期限、策の総継続期間がすべて20%以上、3年、3年と適切な値であること、株主に対する迅速でオープンな情報開示を義務付けていることなどから、この買収防衛策の更新案には特に問題点が発見されなかった。